

新型コロナウイルス感染症の影響により悪化している

(前回:新型コロナウイルス感染症の影響により弱まっている)

生産は低下傾向。輸出は2か月連続の減少。個人消費は急速に低下している。雇用は求人が求職を上回っているものの、改善の動きが弱まっている。新型コロナウイルス感染症等が内外経済に与える影響を引き続き注視する必要がある。

■4月生産:低下傾向

(3月:弱含み)

- 鉱工業生産指数 92.0
前月比 ▲8.8% (2か月ぶり)
前年同月比 ▲13.5% (7か月連続)
- 全13業種中、上昇は6業種
化学・石油石炭製品工業、窯業・土石製品工業、電気・情報通信機械工業等
- 低下は7業種
電子部品・デバイス工業、輸送機械工業、鉄鋼・非鉄金属工業等

(出所:九州経済産業局)

■4月輸出:減少(2か月連続)

(3月:減少)

- 輸出額 4,050億円
前年同月比 ▲29.2% (2か月連続)
- 主要品目
自動車 749億円 ▲42.0% (2か月連続)
電子部品 581億円 ▲20.2% (2か月連続)
鉄鋼のフラットロール製品
304億円 + 5.0% (3か月連続)
- 国別
中国 1,089億円 ▲12.7% (3か月連続)
米国 380億円 ▲59.2% (9か月連続)
韓国 551億円 ▲27.1% (2か月連続)

(出所:門司税関)

■4月個人消費:急速に低下している

(3月:低下している)

- 百貨店・スーパー販売額(全店)
934億円 前年同月比 ▲25.7% (7か月連続)
- コンビニ 966億円 ▲10.8% (2か月連続)
- 家電大型専門店 229億円 ▲10.3% (2か月連続)
- ドラッグストア 638億円 +11.6% (6か月連続)
- ホームセンター 322億円 + 7.1% (3か月連続)
- 新車登録台数 23,299台 ▲29.1% (7か月連続)

(出所:九州経済産業局ほか)

■4月雇用:求人が求職を上回っているものの、改善の動きが弱まっている

(3月:求人が求職を上回っているものの、改善の動きが弱まっている)

- 有効求人倍率 1.22倍
前月比 ▲0.06 (4か月連続)
- 新規求人倍率 1.66倍
前月比 ▲0.35 (3か月ぶり)
- 新規求人数
医療・福祉、卸売・小売業、建設業、製造業、宿泊・飲食サービス業の順に多い。

(出所:管内各労働局)

■業況:悪化(2四半期連続)

- 3月の業況DI (%ポイント)
全産業 ▲4 変化幅▲13
製造業 ▲5 変化幅▲3
非製造業 ▲4 変化幅▲18
- 先行き
全産業 ▲16 変化幅▲12
製造業 ▲15 変化幅▲10
非製造業 ▲16 変化幅▲12

(出所:日本銀行福岡支店 短観3月)

■設備投資:増加

- 19年度(見込)
全産業 +13.8%
製造業 +25.3%
非製造業 ▲1.3%
- 20年度(計画)
全産業 + 1.0%
製造業 + 5.9%
非製造業 ▲ 7.1%

(出所:日本銀行福岡支店 短観3月)

■4月住宅建設:減少(9か月連続)

- 新設着工戸数 6,094戸
前年同月比 ▲23.8% (9か月連続)
- 持家 2,120戸
▲22.4% (9か月連続)
- 貸家 2,779戸
▲20.3% (14か月連続)
- 分譲 1,178戸
▲23.3% (2か月連続)

(出所:国土交通省)

■4月公共投資:増加(5か月連続)

- 工事請負金額 2,271億円
前年同月比 +2.7% (5か月連続)
- 発注者別前年同月比
国 + 3.1%
独立行政法人 ▲23.8%
県 ▲ 3.1%
市町村 ▲ 0.3%

(出所:西日本建設業保証株)

■4月倒産:増加(2か月ぶり)

- 倒産件数 62件
前年同月比 +19.2%
- 負債総額 65.2億円
+3.0% (2か月ぶり)
- 業種別件数(前年同月比)
製造業 9件 (+200.0%)
卸・小売業 17件 (▲5.6%)
建設業 10件 (+25.0%)

(出所:㈱東京商工リサーチ福岡支社)

注)生産及び雇用は前月比、業況は前期比、輸出、個人消費、設備投資、住宅建設、公共投資、倒産は前年同月(期)比で比較。

九経マンスリー（2020年4月）

2020年6月10日
九州経済産業局

今月の管内経済動向：九州地域の経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により悪化している。

生産は低下傾向。輸出は2か月連続の減少。個人消費は急速に低下している。雇用情勢は求人が求職を上回っているものの、改善の動きが弱まっている。

新型コロナウイルス感染症等が内外経済に与える影響を引き続き注視する必要がある。

概 況	九州の主要経済指標(2020年4月)			
1. 生産動向 4月の鉱工業生産指数(季節調整済)は、92.0で前月比▲8.8%と2か月ぶりの低下となった。	■生産動向【九州経済産業局】	前月比	前年同月比	
	生産指数	▲8.8	▲13.5	
	(参考)出荷指数	▲9.5	▲17.6	
	在庫指数	1.2	1.9	
2. 設備投資動向 2020年度の設備投資(計画)は、製造業は前年度比+5.9%、非製造業は同▲7.1%、全産業は同+1.0%と前年度を上回る見込み。	■設備投資動向【日本銀行福岡支店】(2019年度見込、2020年度計画)	2019年度	2020年度	
	全産業	13.8	1.0	
	製造業	25.3	5.9	
	非製造業	▲1.3	▲7.1	
3. 貿易動向 4月の輸出額は、前年同月比▲29.2%と2か月連続の減少。輸入額は▲8.2%と13か月連続の減少となった。	■貿易動向【財務省】			
	輸出通関額	4,050億円	▲29.2	
	輸入通関額	4,109億円	▲8.2	
4. 消費動向	■百貨店・スーパー販売額【九州経済産業局】			
●百貨店・スーパー販売額 4月の百貨店・スーパー販売額は934億円で前年同月比▲25.7%と7か月連続の減少となった。百貨店は104億円で同▲73.0%と7か月連続の減少、スーパーは831億円で同▲4.9%と2か月連続の減少となった。	合計	93,425百万円	▲25.7	
	百貨店	10,372百万円	▲73.0	
	スーパー	83,052百万円	▲4.9	
●コンビニエンスストア販売額 4月のコンビニエンスストア販売額は966億円で、前年同月比▲10.8%の減少となった。店舗数は6,207店となった。	■コンビニエンスストア販売額【九州経済産業局】			
	販売額	96,604百万円	▲10.8	
	店舗数	6,207店	0.6	
●家電販売額 4月の家電販売額は229億円で、前年同月比▲10.3%の減少となった。	■家電販売額【九州経済産業局】			
	販売額	22,933百万円	▲10.3	
●乗用車新車登録・届出台数 4月の乗用車新車登録・届出台数は、普通乗用車、小型乗用車、軽自動車が前年を下回り、乗用車全体で前年同月比▲29.1%と7か月連続の減少となった。	■乗用車新車登録・届出台数【福岡県自動車販売店協会等】			
	乗用車計	23,299台	▲29.1	
	普通車	6,224台	▲34.8	
	小型車	7,717台	▲13.4	
	軽自動車	9,358台	▲34.9	
●家計調査 ※2018年1月分より一か月遅れの更新となります。 3月の消費支出(二人以上の世帯)は300,407円で、前年同月比+0.2%と2か月連続の増加となった。実収入(勤労者世帯)は、同+9.3%と10か月連続の増加となった。	■家計調査【総務省】(2020年3月)			
	消費支出	300,407円	(実質) 0.2	
	(二人以上の世帯)			
	実収入	451,794円	(実質) 9.3	
	(勤労者世帯)			
	平均消費性向(季調値、全国)	63.0%	▲6.5	
●賞金(現金給与総額) 2月の賞金(5人以上の事業所)は、全産業では前年同月比+0.5%と2か月連続の増加、製造業は同▲1.1%と2か月ぶりの減少となった。	■賞金【各県】(2020年2月)			
	全産業		0.5	
	製造業		▲1.1	
5. 住宅建設動向 4月の新設住宅着工戸数は、持家、貸家、分譲が減少し、全体で前年同月比▲23.8%と9か月連続の減少となった。	■住宅建設動向【国土交通省】			
	住宅着工計	6,094戸	▲23.8	
	持家	2,120戸	▲22.4	
	貸家	2,779戸	▲20.3	
	分譲住宅	1,178戸	▲23.3	
6. 物価動向 4月の消費者物価指数(九州)は、102.4で前年同月比+0.5%と14か月連続の上昇(前月比▲0.1%)となった。国内企業物価指数は、99.6で前年同月比▲2.3%と2か月連続の低下(前月比▲1.5%)となった。	■物価動向【日本銀行・総務省】			
	消費者物価指数(九州)	102.4	▲0.1	0.5
	企業物価指数(全国)	99.6	▲1.5	▲2.3
7. 雇用動向 4月の有効求人倍率は前月比▲0.06ポイントの1.22倍、新規求人倍率は同▲0.35ポイントの1.66倍となった。	■雇用動向【九州各労働局】			
	有効求人倍率(季調値)	1.22倍	▲0.06	▲0.29
	新規求人倍率(季調値)	1.66倍	▲0.35	▲0.52
8. 公共投資動向 4月の公共工事請負金額は、前年と比較し、県、市町村、独立行政法人等が減少したものの、国、その他が増加し、全体で前年同月比+2.7%と5か月連続の増加となった。	■公共投資動向[工事請負]【西日本建設業保証(株)】			
	請負金額	227,146百万円		2.7
9. 企業倒産動向 4月の倒産件数は前年同月比+19.2%と2か月ぶりの増加、負債金額は同+3.0%と2か月ぶりの増加となった。	■企業倒産動向【(株)東京商工リサーチ福岡支社】			
	倒産件数	62件		19.2
	負債金額	6,521百万円		3.0

(注)・「1. 生産動向」の指数は季調値、ただし前年比は原数値で比較。

・「4. 消費動向」中、消費支出・実収入の前年比は、算出にあたって消費者物価指数(総務省)により実質化。また、平均消費性向は前年差で表記

九 経 サ マ リ ー

— 最近の九州経済の動向について —

2020年6月10日
九州経済産業局

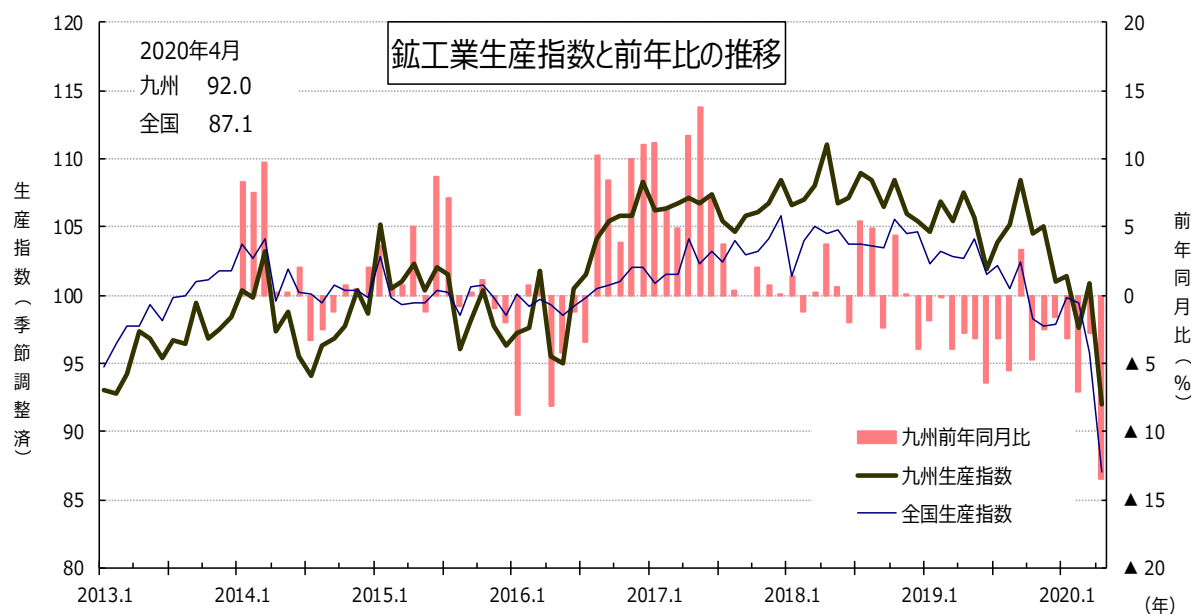
1. 生産動向

(1) 全体

2020年4月の鉱工業生産指数(季節調整済)は92.0となり、前月比が▲8.8%と2か月ぶりの低下、前年同月比は▲13.5%と7か月連続の低下となった。

	九州				全国			
	季節調整済指数		原指数		季節調整済指数		原指数	
		前月比 %		前年同月比 %		前月比 %		前年同月比 %
生産	92.0	▲ 8.8	88.6	▲ 13.5	87.1	▲ 9.1	86.5	▲ 14.4
出荷	86.1	▲ 9.5	81.9	▲ 17.6	85.0	▲ 8.8	83.3	▲ 15.9
在庫	108.3	1.2	105.1	1.9	106.1	▲ 0.3	103.9	2.7
在庫率	153.9	32.3	151.3	38.8	137.4	12.7	134.8	28.1

▲印は低下を示す。(2015年=100)

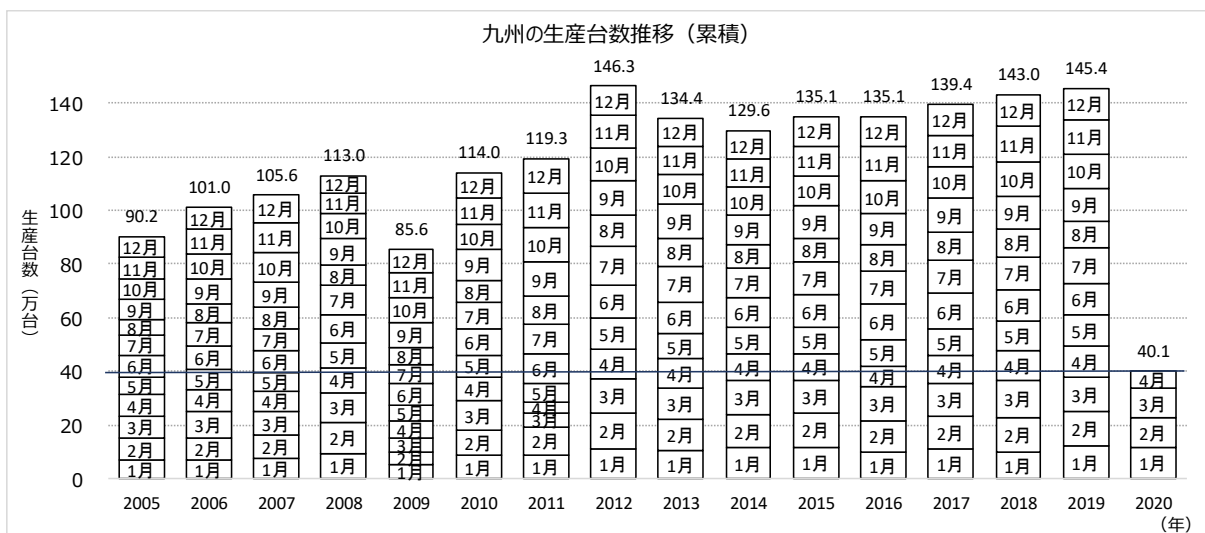


【生産】 前月比 ▲8.8% 2か月ぶり低下 (全13業種中 上昇6業種、低下7業種、横ばい0業種)

	主な上昇・低下業種/ウェイト	前年 同月比	前月比		主な上昇・低下品目
			前月	今月	
上昇	化学・石油石炭製品工業	997.5	▲12.1	5.6	5.5 皮膚用化粧品、有機化学製品(有機薬品・その他)等
	窯業・土石製品工業	439.4	10.0	▲7.9	9.0 ファインセラミックス(機能材)、ファインセラミックス(一般構造材)等
	電気・情報通信機械工業	638.9	▲13.9	▲10.1	8.0 開閉制御装置、一般用タービン・エンジン発電機等
低下	電子部品・デバイス工業	1,359.4	▲2.6	35.7	▲25.1 トランジスタ、半導体集積回路(CCD・その他)等
	輸送機械工業	1,351.7	▲40.5	▲3.4	▲25.0 普通乗用車、駆動伝導・操縦装置部品等
	鉄鋼・非鉄金属工業	770.7	▲18.2	▲3.7	▲14.1 非鉄金属地金、特殊鋼鋼材等

(2) 四輪自動車生産動向

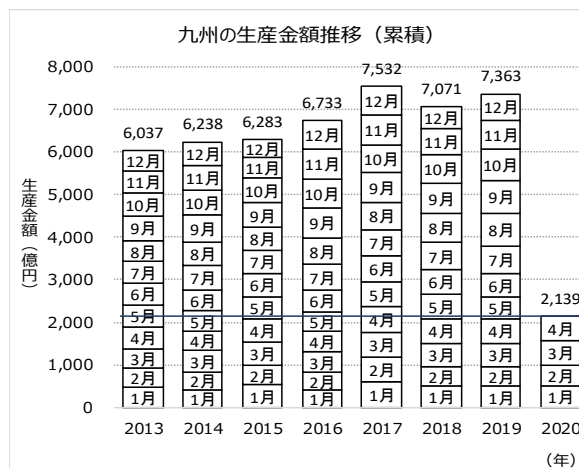
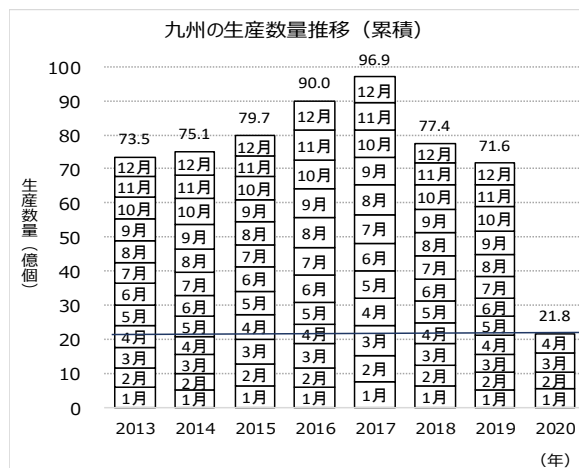
生産台数は63,710台と、前月比▲42.4%、前年同月比▲44.6%となった。



(3) IC生産動向

生産は、数量で5億5,935万個と、前月比▲1.8%、前年同月比▲1.6%となった。

金額で561億7,700万円と、前月比▲3.9%、前年同月比▲1.3%となった。



2. 設備投資動向

設備投資額(含む土地投資額)(九州・沖縄)

	19年度 (見込)		20年度 (計画)	
		修正率		修正率
製造業	25.3	▲ 6.8	5.9	-
非製造業 (除 電気・ガス)	▲ 1.3	▲ 0.8	▲ 7.1	-
全産業 (除 電気・ガス)	13.8	▲ 4.6	1.0	-
(参考)全国全産業	2.7	▲ 0.5	▲ 0.4	-

(注1)ソフトウェア投資額・研究開発投資額は含まない。

(注2)修正率(%)は前回調査との対比。

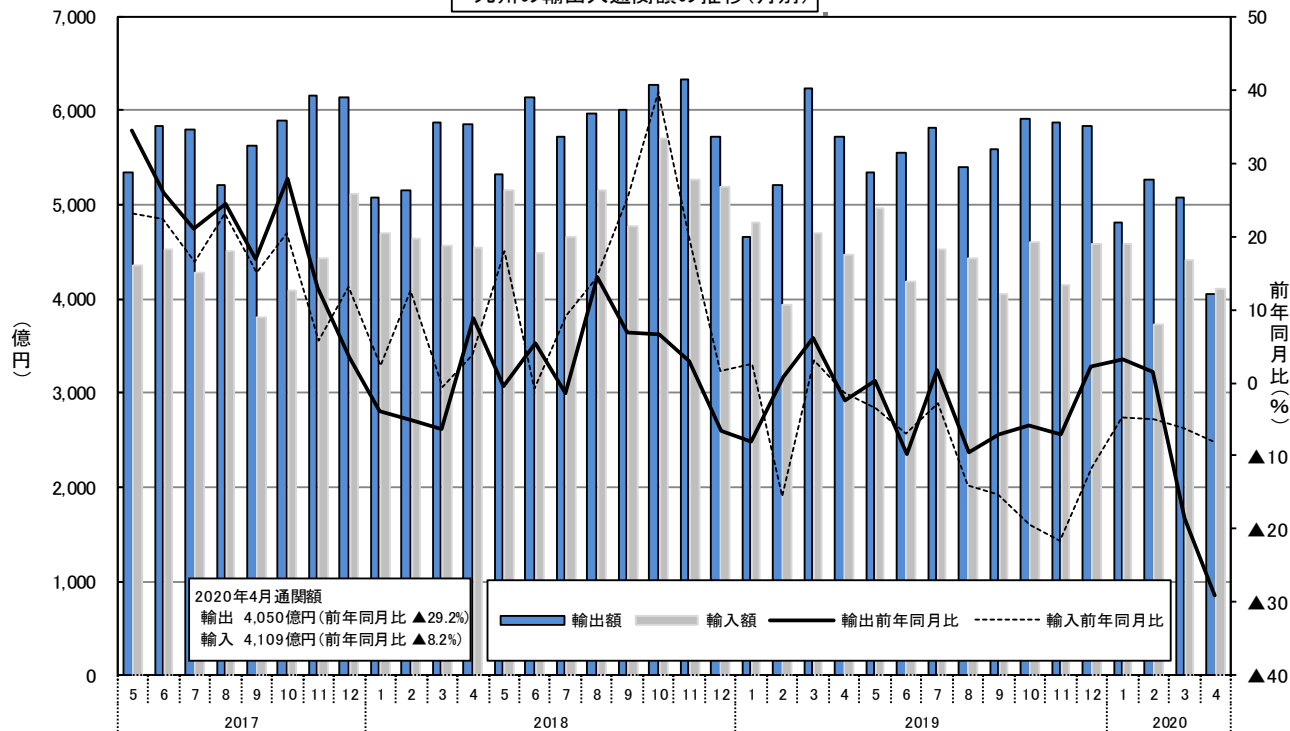
出所: 日本銀行福岡支店 九州・沖縄「企業短期経済観測調査」3月

3. 貿易動向

4月		金額	前年同月比		全国シェア
輸出	九州	4,050億円	▲ 29.2%	2か月連続の減少	7.8%
	全国	5兆2,060億円	▲ 21.9%	17か月連続の減少	-
輸入	九州	4,109億円	▲ 8.2%	13か月連続の減少	6.7%
	全国	6兆1,379億円	▲ 7.1%	12か月連続の減少	-
貿易収支	九州	▲ 59億円	-	15か月ぶりの貿易赤字	-
	全国	▲ 9,319億円	-	3か月ぶりの貿易赤字	-

		2018年	2019年	2019年			2020年	2020年				
				4~6	7~9	10~12	1~3	1月	2月	3月	4月	
輸出通関額(円)	九州	1.6	▲ 3.3	▲ 4.2	▲ 5.0	▲ 3.8	▲ 5.8	3.2	1.4	▲ 18.6	R ▲ 29.2	
	前年比:% 全国	4.1	▲ 5.6	▲ 5.5	▲ 5.0	▲ 7.8	▲ 5.5	▲ 2.6	▲ 1.0	▲ 11.7	R ▲ 21.9	
輸入通関額(円)	九州	11.5	▲ 9.3	▲ 3.9	▲ 10.9	▲ 17.6	R ▲ 5.2	▲ 4.6	▲ 5.0	R ▲ 6.1	P ▲ 8.2	
	前年比:% 全国	9.7	▲ 5.0	▲ 0.1	▲ 4.9	▲ 11.9	R ▲ 7.2	▲ 3.6	▲ 13.9	R ▲ 5.0	P ▲ 7.1	
対アジア	輸出	4.8	▲ 0.8	4.2	▲ 4.9	▲ 3.2	▲ 5.4	▲ 1.6	7.9	▲ 19.0	R ▲ 20.3	
	前年比:% 輸入	4.7	▲ 6.7	▲ 4.2	▲ 5.2	▲ 12.7	R ▲ 10.1	▲ 0.5	▲ 23.2	R ▲ 7.9	P ▲ 5.8	
為替レート(¥/\$) (期中平均)		110.39	109.01	109.85	107.30	108.72	108.86	109.34	109.96	107.29	107.93	
原油輸入価格 (CIFベース\$/B)		72.78	66.79	71.47	66.36	65.85	R 67.50	70.33	70.60	R 62.16	P 42.29	

九州の輸出入通関額の推移(月別)



出所:財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成

輸出	品目	金額(億円)	前年同月比		寄与度	主要国等の動き ※()内は前年同月比
増加	鉄鋼のフラットロール製品	304	+ 5.0%	3か月連続	+0.3%	中国(+8.3%)、EU(+674.6%)、中東(+306.1%)、台湾(+23.3%)、香港(+71.7%)等が増加。ASEAN(▲20.4%)、韓国(▲42.9%)、アメリカ(▲53.2%)等が減少。
減少	自動車	749	▲ 42.0%	2か月連続	▲9.5%	台湾(+40.5%)、中東(+182.9%)、香港(+3.8%)等が増加。中国(▲21.7%)、アメリカ(▲75.7%)、韓国(▲47.3%)、ASEAN(▲64.6%)、EU(▲80.7%)等が減少。
減少	船舶類	121	▲ 66.3%	3か月連続	▲4.2%	香港(+6073.0%)等が増加。ASEAN(▲77.7%)、韓国(▲99.6%)等が減少。
減少	半導体等電子部品	581	▲ 20.2%	2か月連続	▲2.6%	ASEAN(+47.4%)等が増加。香港(▲40.2%)、韓国(▲12.1%)、中国(▲8.2%)、台湾(▲14.4%)、アメリカ(▲32.6%)、EU(▲83.6%)、中東(▲76.4%)等が減少。
減少	半導体等製造装置	132	▲ 48.2%	4か月連続	▲2.2%	台湾(+41.1%)、アメリカ(+10.6%)、中東(+44.2%)等が増加。韓国(▲48.0%)、中国(▲71.2%)、ASEAN(▲25.0%)、EU(▲3.3%)、香港(▲100.0%)等が減少。
減少	ゴムタイヤ及びチューブ	192	▲ 32.0%	7か月連続	▲1.6%	アメリカ(▲21.9%)、中東(▲17.5%)、EU(▲51.9%)、ASEAN(▲46.1%)、韓国(▲15.6%)、中国(▲49.2%)、台湾(▲13.4%)、香港(▲75.0%)等が減少。
減少	有機化合物	157	▲ 28.1%	2か月連続	▲1.1%	EU(+191.1%)、アメリカ(+3.1%)等が増加。中国(▲27.3%)、ASEAN(▲31.6%)、韓国(▲56.5%)、台湾(▲65.8%)、中東(▲11.9%)、香港(▲100.0%)等が減少。

輸入	品目	金額(億円)	前年同月比		寄与度	数量	前年同月比	
増加	液化天然ガス	68	+ 79.3%	18か月ぶり	+0.7%	1,188百MT	+ 88.1%	9か月ぶり
減少	原油及び粗油	920	▲ 11.8%	2か月連続	▲2.8%	3,332千KL	+ 54.4%	3か月連続

輸出	国 別	金額(億円)	前年同月比		寄与度	主要国等の動き ※()内は前年同月比
増加	中東	117	+ 33.5%	4か月連続	+0.5%	自動車(+182.9%)、鉄鋼のフラットロール製品(+306.1%)、半導体等製造装置(+44.2%)等が増加。ゴムタイヤ及びチューブ(▲17.5%)、有機化合物(▲11.9%)、半導体等電子部品(▲76.4%)等が減少。
増加	台湾	293	+ 2.3%	6か月連続	+0.1%	自動車(+40.5%)、半導体等製造装置(+41.1%)、鉄鋼のフラットロール製品(+23.3%)等が増加。半導体等電子部品(▲14.4%)、有機化合物(▲65.8%)、ゴムタイヤ及びチューブ(▲13.4%)等が減少。
減少	アメリカ合衆国	380	▲ 59.2%	9か月連続	▲9.6%	有機化合物(+3.1%)、半導体等製造装置(+10.6%)等が増加。自動車(▲75.7%)、ゴムタイヤ及びチューブ(▲21.9%)、半導体等電子部品(▲32.6%)、鉄鋼のフラットロール製品(▲53.2%)等が減少。
減少	大韓民国	551	▲ 27.1%	2か月連続	▲3.6%	半導体等製造装置(▲48.0%)、半導体等電子部品(▲12.1%)、自動車(▲47.3%)、鉄鋼のフラットロール製品(▲42.9%)、有機化合物(▲56.5%)、ゴムタイヤ及びチューブ(▲15.6%)、船舶類(▲99.6%)等が減少。
減少	ASEAN	616	▲ 21.8%	2か月連続	▲3.0%	半導体等電子部品(+47.4%)等が増加。鉄鋼のフラットロール製品(▲20.4%)、船舶類(▲77.7%)、有機化合物(▲31.6%)、自動車(▲64.6%)、ゴムタイヤ及びチューブ(▲46.1%)、半導体等製造装置(▲25.0%)等が減少。
減少	香港	315	▲ 34.4%	3か月連続	▲2.9%	自動車(+3.8%)、鉄鋼のフラットロール製品(+71.7%)、船舶類(+6073.0%)等が増加。半導体等電子部品(▲40.2%)、ゴムタイヤ及びチューブ(▲75.0%)、半導体等製造装置(▲100.0%)、有機化合物(▲100.0%)等が減少。
減少	中華人民共和国	1,089	▲ 12.7%	3か月連続	▲2.8%	鉄鋼のフラットロール製品(+8.3%)等が増加。自動車(▲21.7%)、有機化合物(▲27.3%)、半導体等電子部品(▲8.2%)、半導体等製造装置(▲71.2%)、ゴムタイヤ及びチューブ(▲49.2%)等が減少。
減少	EU	294	▲ 17.9%	2か月ぶり	▲1.1%	有機化合物(+191.1%)、鉄鋼のフラットロール製品(+674.6%)等が増加。ゴムタイヤ及びチューブ(▲51.9%)、自動車(▲80.7%)、半導体等電子部品(▲83.6%)、半導体等製造装置(▲3.3%)等が減少。

輸入	国 別	金額(億円)	前年同月比		寄与度
増加	オーストラリア	438	+ 29.5%	4か月ぶり	+2.2%
増加	中東	912	+ 10.8%	4か月連続	+2.0%
増加	中華人民共和国	874	+ 3.1%	3か月ぶり	+0.6%
増加	ペルー	31	+345.3%	4か月ぶり	+0.5%
増加	ナイジェリア	1	+ 47.7%	2か月連続	+0.0%
減少	ロシア	116	▲ 58.4%	2か月連続	▲3.6%
減少	ASEAN	489	▲ 15.2%	3か月連続	▲2.0%
減少	大韓民国	166	▲ 21.1%	10か月連続	▲1.0%
減少	アメリカ合衆国	298	▲ 8.1%	2か月ぶり	▲0.6%
減少	EU	99	▲ 12.1%	4か月連続	▲0.3%

4. 消費動向

(1)百貨店・スーパー

(単位：百万円、%)

	合 計		百貨店		スーパー	
	販売額	前年同月比 全店 (既存店)	販売額	前年同月比 全店 (既存店)	販売額	前年同月比 全店 (既存店)
全国	1,344,466	▲ 18.6 (▲ 22.1)	139,724	▲ 71.5 (▲ 71.1)	1,204,742	3.6 (0.9)
九州計	93,425	▲ 25.7 (▲ 30.3)	10,372	▲ 73.0 (▲ 73.0)	83,052	▲ 4.9 (▲ 9.5)
衣料品	8,903	▲ 70.9 (▲ 71.8)	3,686	▲ 80.7 (▲ 80.7)	5,217	▲ 54.6 (▲ 56.2)
飲食料品	59,496	▲ 0.1 (▲ 4.4)	3,615	▲ 56.9 (▲ 56.9)	55,881	8.8 (4.8)
その他	25,027	▲ 29.4 (▲ 36.7)	3,072	▲ 71.8 (▲ 71.8)	21,955	▲ 10.4 (▲ 17.8)

【注】九州計の数値は沖縄を含む。

	品 目	寄与度 (全店)	主な動き (全店)	前年同月比(%)	
				全店	既存店
百貨店	九州計	▲ 73.0	感染症の影響などにより、臨時休業をした店舗や、営業時間を短縮した店舗があったことや、顧客の外出控えの影響などから、全体的に動きが鈍く、7か月連続で前年を下回った。	▲ 73.0	▲ 73.0
	衣料品	▲ 40.2	全般的に動きが鈍く、7か月連続で前年を下回った。	▲ 80.7	▲ 80.7
	飲食料品	▲ 12.4	全般的に動きが鈍く、17か月連続で前年を下回った。	▲ 56.9	▲ 56.9
	その他	▲ 20.4	全般的に動きが鈍く、7か月連続で前年を下回った。	▲ 71.8	▲ 71.8
スーパー	九州計	▲ 4.9	飲食料品が好調だったが、衣料品や化粧品等の動きが鈍かったことなどから、2か月連続で前年を下回った。	▲ 4.9	▲ 9.5
	衣料品	▲ 7.6	入学式等、ハレの日需要の減少などにより、婦人服を中心に全般的に動きが鈍く、7か月連続で前年を下回った。	▲ 54.6	▲ 56.2
	飲食料品	5.3	生鮮食品や加工食品を中心に全般的に好調だったため、6か月連続で前年を上回った。	8.8	4.8
	その他	▲ 2.7	衛生用品や医薬品等に動きが見られたものの、化粧品等の動きが鈍く、2か月連続で前年を下回った。	▲ 10.4	▲ 17.8

(2)コンビニエンスストア、専門量販店

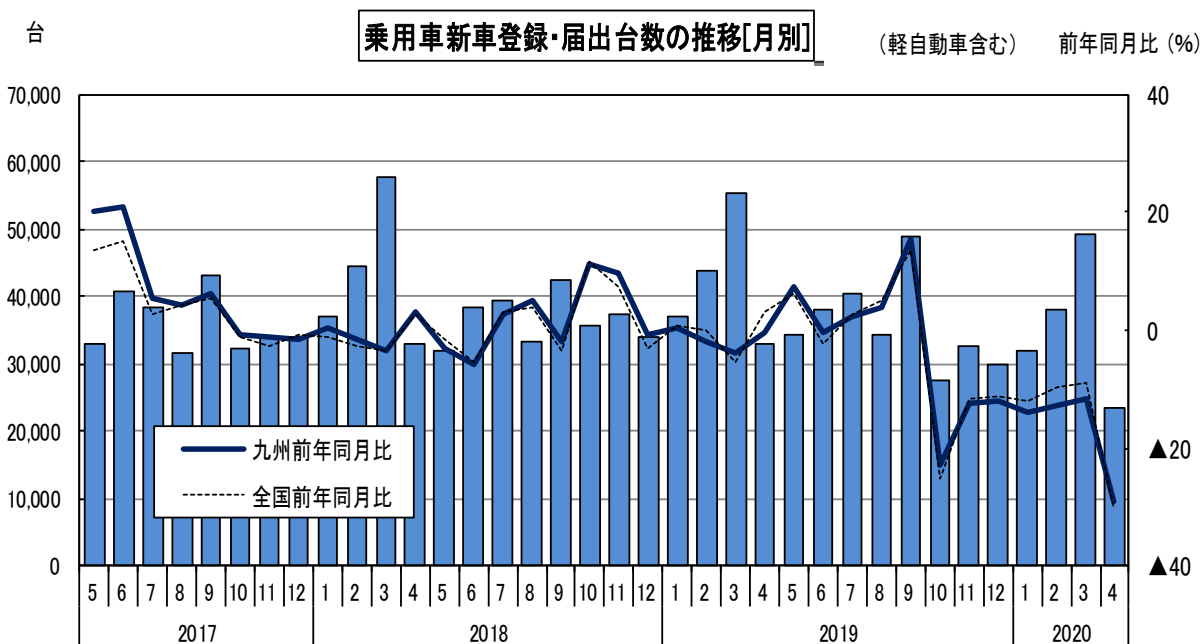
(単位：百万円、店、%)

	九 州				全 国			
	販売額	前年比	店舗数	前年比	販売額	前年比	店舗数	前年比
コンビニエンスストア	96,604	▲ 10.8	6,207	0.6	891,438	▲ 10.7	56,382	▲ 0.4
全国比	10.8	—	11.0	—	—	—	—	—
家電大型専門店	22,933	▲ 10.3	301	3.1	307,334	▲ 9.0	2,551	1.7
全国比	7.5	—	11.8	—	—	—	—	—
ドラッグストア	63,828	11.6	1,529	1.5	616,165	10.4	16,548	3.8
全国比	10.4	—	9.2	—	—	—	—	—
ホームセンター	32,166	7.1	533	0.9	298,540	4.0	4,362	0.4
全国比	10.8	—	12.2	—	—	—	—	—

(3) 乗用車新車登録・届出台数動向

4月	九州			全国		
	台数(台)	前年同月比		台数(台)	前年同月比	
全体	23,299台	▲ 29.1%	7か月連続	219,003台	▲ 30.4%	7か月連続
普通	6,224台	▲ 34.8%	7か月連続	66,739台	▲ 37.7%	7か月連続
小型	7,717台	▲ 13.4%	7か月連続	77,707台	▲ 15.7%	7か月連続
軽	9,358台	▲ 34.9%	7か月連続	74,557台	▲ 35.4%	7か月連続

		2018年	2019年	2019年			2020年	2020年				
				4~6	7~9	10~12	1~3	1月	2月	3月	4月	
九州	全体	0.8	▲ 1.9	2.1	7.7	▲ 15.7	▲ 12.6	▲ 14.1	▲ 12.9	▲ 11.4	▲ 29.1	
	普通乗用車	3.2	1.6	7.7	13.8	▲ 14.4	▲ 2.8	▲ 11.3	▲ 18.0	▲ 20.4	▲ 34.8	
	小型乗用車	▲ 4.6	▲ 6.1	▲ 3.4	4.0	▲ 19.4	15.2	▲ 11.8	▲ 7.4	▲ 0.3	▲ 13.4	
	軽自動車	3.0	▲ 1.6	1.8	5.8	▲ 14.1	▲ 13.6	▲ 17.4	▲ 12.6	▲ 11.7	▲ 34.9	
全国	全体	0.1	▲ 2.0	2.2	7.4	▲ 16.0	▲ 10.1	▲ 12.1	▲ 9.9	▲ 9.0	▲ 30.4	
	普通乗用車	2.1	0.2	6.8	11.1	▲ 15.8	▲ 0.8	▲ 10.8	▲ 14.9	▲ 17.5	▲ 37.7	
	小型乗用車	▲ 5.8	▲ 5.9	▲ 3.6	2.0	▲ 19.0	16.1	▲ 12.4	▲ 5.6	▲ 0.2	▲ 15.7	
	軽自動車	3.6	▲ 1.1	2.7	8.3	▲ 13.5	▲ 9.0	▲ 13.1	▲ 8.2	▲ 6.8	▲ 35.4	



(4) 家計調査動向

(二人以上の世帯)

3月	名 目		実質/前年同月比	
	消費支出	九州	30万0,407円	+ 0.2%
	全国	29万2,214円	▲ 6.0%	6か月連続

(二人以上の世帯のうち勤労者世帯)

3月	名 目		実質/前年同月比	
	実収入	九州	45万1,794円	+ 9.3%
	全国	49万0,589円	+ 1.5%	3か月連続

出所:総務省「家計調査報告」

(5) 賃 金 (現金給与総額)

2月 九州	現金給与総額	前年同月比		残業時間	前年同月比	
全産業	23万2,744円	+ 0.5%	2か月連続	9.8時間	▲ 3.0%	5か月連続
製造業	25万3,889円	▲ 1.1%	2か月ぶり	14.0時間	▲ 13.6%	19か月連続

5人以上規模・全国製造業入り

毎月勤労統計		2018年	2019年	2019年			2020年	2019年	2020年		
				4~6	7~9	10~12	1~3	12月	1月	2月	3月
九州 全産業	5人以上	▲ 0.9	▲ 1.7	▲ 2.0	▲ 1.2	▲ 1.6	-	▲ 4.0	1.0	0.5	-
		2.0	▲ 3.6	▲ 3.8	▲ 3.4	▲ 3.0	-	▲ 4.2	1.9	▲ 1.1	-
全国 全産業	5人以上	1.4	▲ 0.3	▲ 0.1	▲ 0.3	▲ 0.1	0.6	▲ 0.2	1.0	0.7	0.1
		1.8	▲ 0.3	0.3	▲ 0.5	▲ 0.7	▲ 0.9	▲ 1.8	▲ 0.1	▲ 0.4	▲ 2.2

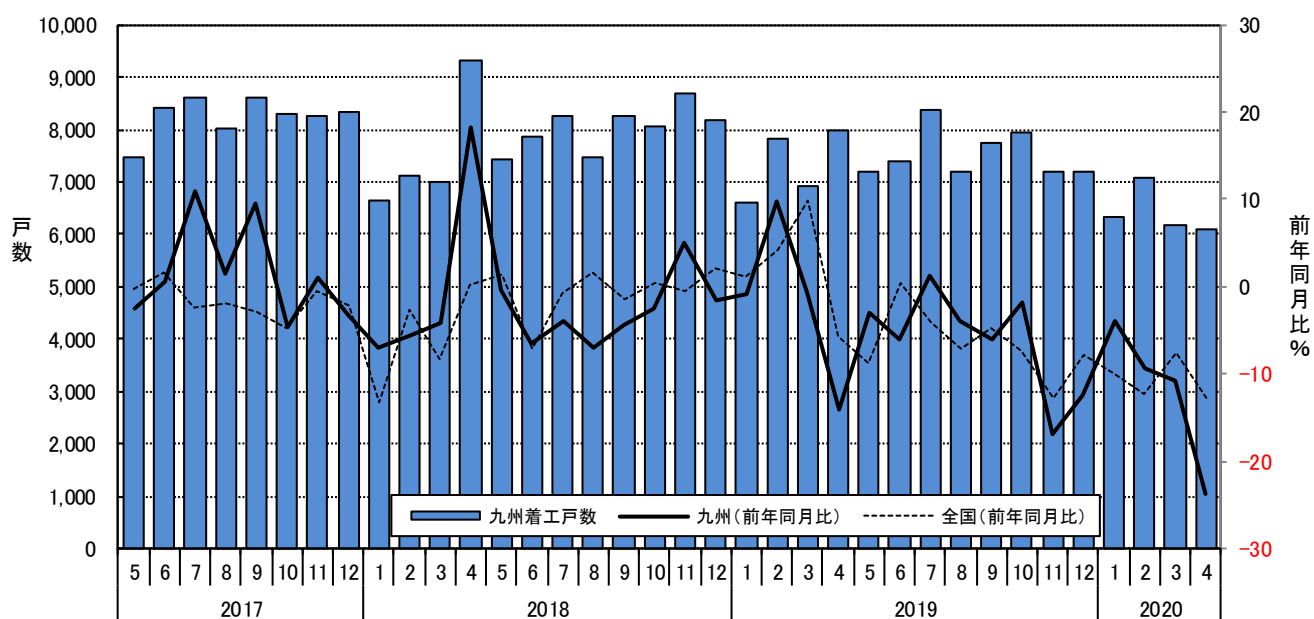
出所:九州各県、厚生労働省「毎月勤労統計調査」

5. 住宅建設動向

4月		戸数(戸)	前年同月比(%)	
九州	総数	6,094戸	▲ 23.8%	9か月連続
	持家	2,120戸	▲ 22.4%	9か月連続
	貸家	2,779戸	▲ 20.3%	14か月連続
	分譲	1,178戸	▲ 23.3%	2か月連続
全国	総数	69,162戸	▲ 12.9%	10か月連続
	持家	21,015戸	▲ 17.4%	9か月連続
	貸家	24,976戸	▲ 15.4%	20か月連続
	分譲	22,557戸	▲ 3.6%	6か月連続

項目			2018年	2019年	2019年		2020年	2020年				
					4~6	7~9	10~12	1~3	1月	2月	3月	4月
新設住宅着工戸数	九州	▲ 1.7	▲ 5.0	▲ 8.2	▲ 2.9	▲ 10.5	▲ 8.1	▲ 3.9	▲ 9.4	▲ 10.8	▲ 23.8	
	全国	▲ 2.3	▲ 4.0	▲ 4.7	▲ 5.4	▲ 9.4	▲ 9.9	▲ 10.1	▲ 12.3	▲ 7.6	▲ 12.9	
持家	九州	▲ 1.2	▲ 1.2	6.7	▲ 3.8	▲ 10.8	▲ 9.5	▲ 14.6	▲ 9.5	▲ 4.4	▲ 22.4	
	全国	▲ 0.4	1.9	9.6	▲ 0.6	▲ 7.2	▲ 8.3	▲ 13.8	▲ 11.1	▲ 0.3	▲ 17.4	
貸家	九州	▲ 7.2	▲ 11.5	▲ 15.8	▲ 13.9	▲ 17.0	▲ 11.9	▲ 4.6	▲ 16.0	▲ 12.8	▲ 20.3	
	全国	▲ 5.5	▲ 13.7	▲ 14.9	▲ 16.5	▲ 15.0	▲ 9.6	▲ 2.5	▲ 18.9	▲ 6.6	▲ 15.4	
分譲住宅	九州	13.3	2.9	▲ 18.4	29.7	4.8	1.6	16.5	6.0	▲ 17.5	▲ 23.3	
	全国	0.0	4.9	▲ 3.8	8.2	▲ 3.1	▲ 11.8	▲ 14.6	▲ 3.9	▲ 16.1	▲ 3.6	

住宅着工戸数の推移(月別)



出所: 国土交通省「建築着工統計調査」

6. 物価動向

4月	九州	消費者物価指数	前月比		前年同月比	
	総合	102.4	▲ 0.1%	2か月ぶり	+ 0.5%	14か月連続
4月	全国	消費者物価指数	前月比		前年同月比	
	総合	101.9	▲ 0.1%	2か月ぶり	+ 0.1%	43か月連続

4月	全国	企業物価指数	前月比		前年同月比	
	国内企業物価指数	99.6	▲ 1.5%	3か月連続	▲ 2.3%	2か月連続
	輸出物価指数(円ベース)	89.4	▲ 1.1%	2か月連続	▲ 6.6%	12か月連続
	輸入物価指数(円ベース)	84.7	▲ 5.6%	2か月連続	▲ 13.1%	12か月連続

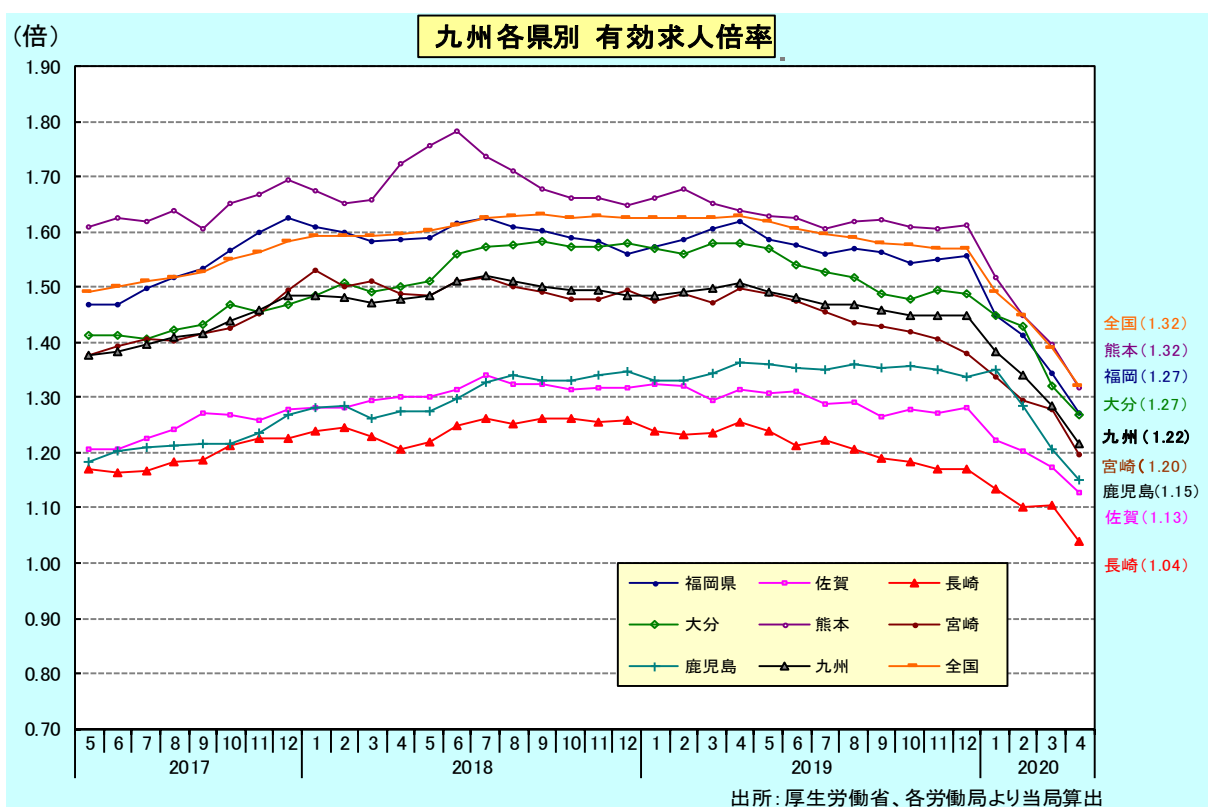
出所：総務省「消費者物価指数」(平成27年基準)、日本銀行「企業物価指数」(平成27年基準)

7. 雇用動向

項目		2018年	2019年	2019年	2019年	2020年	2020年	2020年	2020年	2020年	2020年
				4~6	7~9	10~12	1~3	1月	2月	3月	4月
有効求人倍率	九州	1.49	1.47	1.49	1.47	1.45	1.34	1.38	1.34	1.28	1.22
	全国	1.61	1.60	1.62	1.59	1.57	1.44	1.49	1.45	1.39	1.32
新規求人倍率	九州	2.12	2.15	2.15	2.12	2.14	1.93	1.80	1.98	2.01	1.66
	全国	2.39	2.42	2.41	2.38	2.42	2.17	2.04	2.22	2.26	1.85

(注1) 月次と求人倍率の四半期は季節調整済値による

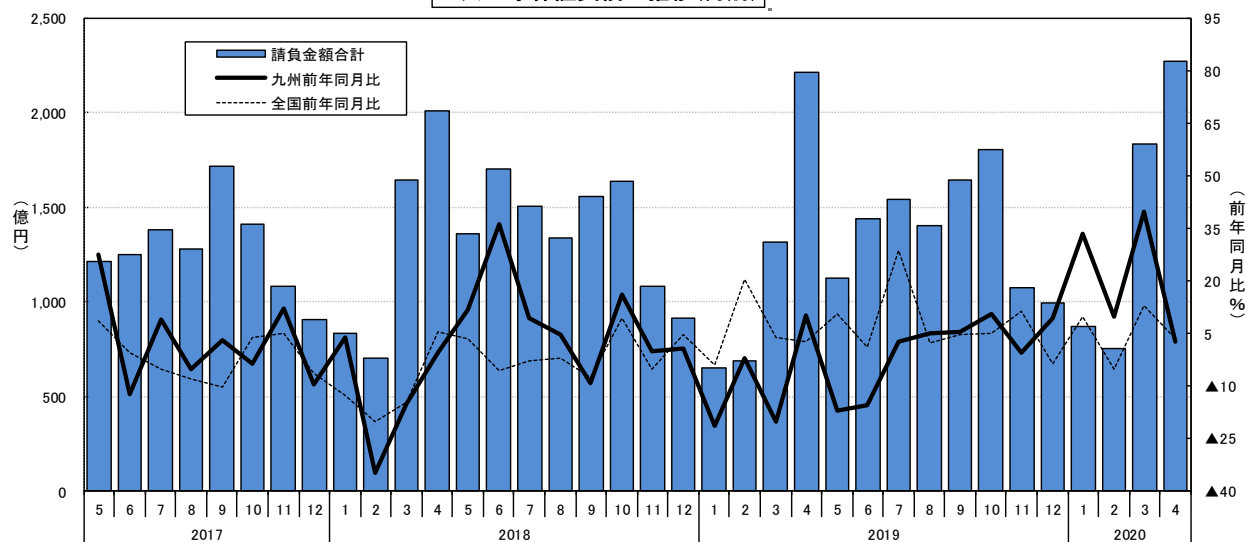
出所：厚生労働省、各労働局資料より当局算出



8. 公共投資動向

4月	請負額	前年同月比		前年同月比				
				国	独立行政法人	県	市町村	その他
九州	2,271億円	+ 2.7%	5か月連続	+ 3.1%	▲ 23.8%	▲ 3.1%	▲ 0.3%	+121.1%
全国	23,054億円	+ 3.2%	2か月連続	+ 10.2%	+ 2.5%	+ 7.2%	▲ 4.8%	+ 25.8%

公共工事保証実績の推移(月別)



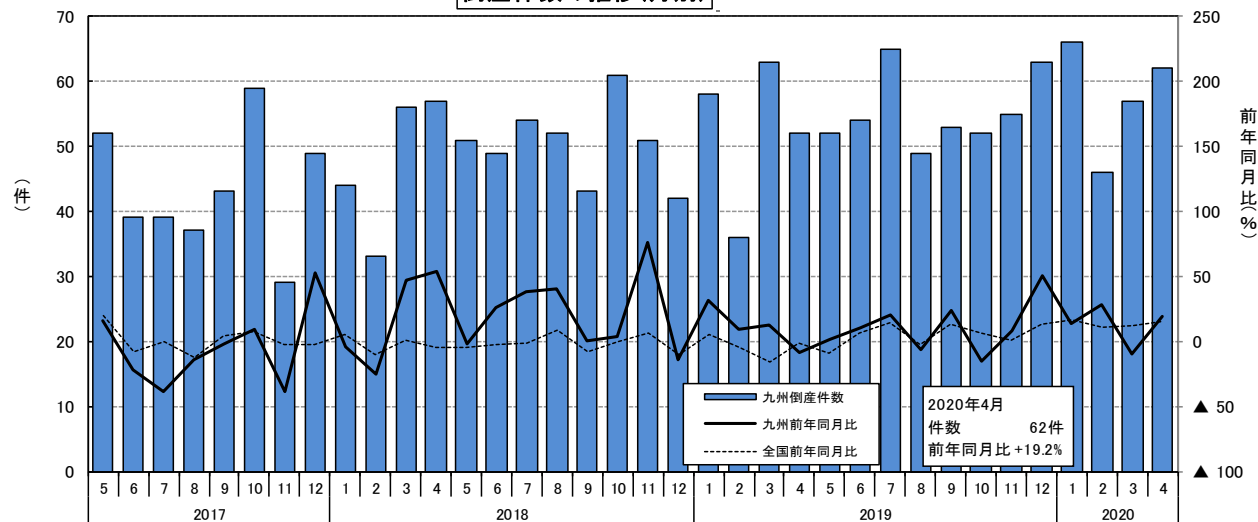
出所：西日本建設業保証(株)

9. 企業倒産動向

4月		前年同月比	
倒産件数	九州	62件	+ 19.2% 2か月ぶり
	全国	743件	+ 15.2% 8か月連続
負債総額	九州	65.2億円	+ 3.0% 2か月ぶり
	全国	1,449.9億円	+ 35.6% 2か月連続

4月 業種別		前年同月比	
倒産件数	製造	9件	+200.0% 2か月ぶり
	卸・小売	17件	▲ 5.6% 3か月ぶり
	建設	10件	+ 25.0% 3か月ぶり
	その他	26件	+ 13.0% 2か月ぶり

倒産件数の推移(月別)



出所：(株)東京商工リサーチ

(参考)業況判断

(1) 日本銀行「企業短期経済観測調査」

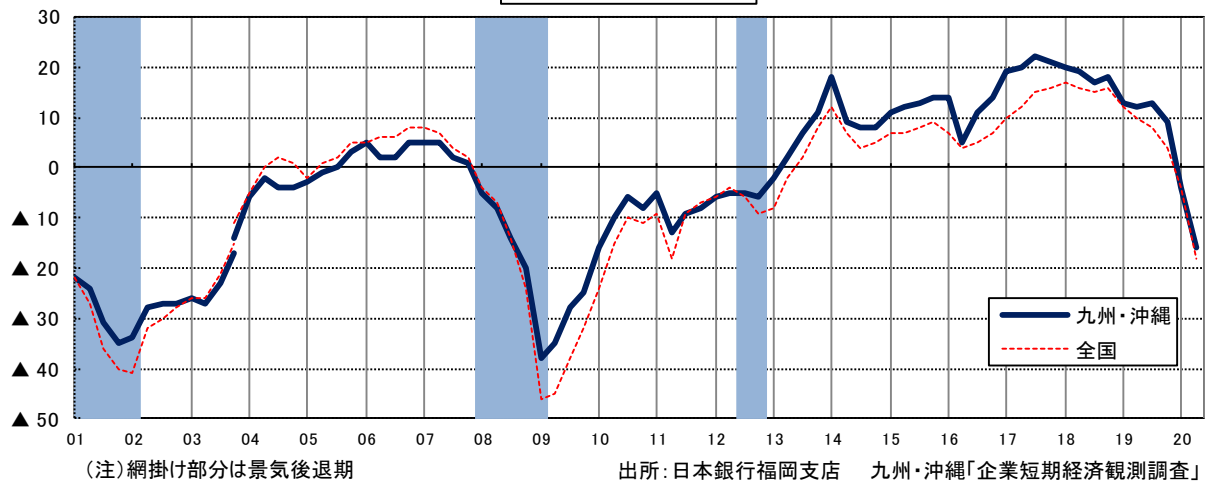
日銀短観(3月調査)によると、九州・沖縄の業況判断DIは、製造業DIは▲5(前回調査比▲3ポイント)、非製造業は▲4(同▲18ポイント)、全産業で▲4(同▲13ポイント)と悪化した。次回予測(20年6月)の数値は、製造業は▲15(3月比▲10ポイント)、非製造業は▲16(同▲12ポイント)、全産業で▲16(同▲12ポイント)と悪化を予測。

(先行き)

業況判断DI		2017年		2018年				2019年				2020年	
		12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	
全産業	九州・沖縄	21	20	19	17	18	13	12	13	9	▲4	▲16	
	全国	16	17	16	15	16	12	10	8	4	▲4	▲18	
製造業	九州・沖縄	19	18	20	15	13	5	5	2	▲2	▲5	▲15	
	全国	19	18	17	16	16	7	3	▲1	▲4	▲12	▲22	
非製造業	九州・沖縄	22	21	18	18	20	17	17	18	14	▲4	▲16	
	全国	14	15	15	14	15	15	14	14	11	1	▲14	

※調査対象企業見直しに伴い、27年3月調査以降は新ベースデータ。

業況判断DIの推移



(2) 中小企業庁「中小企業景況調査」

中小企業景況調査(2020年1-3月期)によると、九州・沖縄における中小企業の業況判断DI(前期比季調値)は全産業で▲20.2と前期から▲3.1ポイントの低下となった。

業況判断DI (前期比季調値)		2017年	2018年				2019年				2020年
		10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月
全産業	九州・沖縄	▲11.8	▲11.6	▲12.0	▲12.9	▲13.3	▲14.7	▲10.7	▲13.5	▲17.1	▲20.2
	全国	▲14.6	▲13.9	▲14.3	▲15.3	▲13.9	▲14.9	▲15.5	▲16.6	▲21.1	▲24.4
製造業	九州・沖縄	▲8.5	▲10.5	▲8.2	▲12.1	▲12.4	▲18.6	▲12.2	▲14.3	▲18.6	▲22.0
	全国	▲8.6	▲9.7	▲8.8	▲10.4	▲10.5	▲14.5	▲15.0	▲17.2	▲22.4	▲27.4
非製造業	九州・沖縄	▲12.8	▲11.9	▲13.1	▲13.0	▲13.8	▲13.5	▲10.1	▲13.1	▲16.3	▲20.0
	全国	▲16.5	▲15.4	▲16.1	▲16.9	▲15.0	▲15.0	▲15.6	▲16.4	▲20.6	▲23.5

中小企業の業況判断DI(前期比季調値)

